

1級財務分析  
解答用紙  
(その1)

<ご注意>  
この解答は、株式会社建設経営サービス(KKS)が作成したもので、試験機関による正式な採点結果を保証するものではありません。あくまで解答例としてご利用ください。また、配点及び合格ラインもKKSの予想です。本解答例の著作権はKKSに帰属します。予告なく内容を変更する場合があります。

予想合格ライン70点

〔第1問〕 解答にあたっては、400字以内（句読点を含む）で記入すること 20点

	10	20	25
	回転率とは、一定期間に各資産や資本等が新旧何回入れ		
	替わったか、すなわち何回回転したかという回数をいう		
	。つまり、これによって各項目のいわば利用度が明らか		
	にされる。一方、回転期間とは、各資産や資本等が1回		
5	回転するのに要する期間をいう。つまり、新旧入れ替わる		
	のにどれだけの期間が掛かるかということが明らかにさ		
	れる。回転率と回転期間は互いに逆数の関係にあるため		
	、一方から他方が容易に算出される。回転率ではその項		
	目が一定期間に何回回転するかということは分かるが、		
10	回転数のみで企業の活動状況を把握し、その良否を判断		
	することは困難である。それに対し、回転期間ではその		
	長短をみることにより、回転のいわば適正性を知ることが		
	ができる。すなわち回転期間は発生から費消までの期間		
	を意味しており、各項目の実際の回転期間を、その項目		
15	について適正と考えられる費消期間と比較検討すること		
	により、その活動状態の良否が明らかになる。		

得点	
----	--

# 1級財務分析 解答用紙 (その2)

氏 名		受験番号シール貼付欄
姓	姓をカタカナで記入してください。	受験票から受験番号シールをはがして、ここに貼り付けてください。
名	名をカタカナで記入してください。	シールがない方は下欄に自筆で受験番号を記入してください。

〔第2問〕

15点（各1点）

記号（ア～ヘ）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
コ	ヘ	チ	シ	オ	ハ	ニ	ス	ア	サ

11	12	13	14	15
エ	ク	ノ	ウ	タ

〔第3問〕

15点（各3点）

(A)  千円（千円未満を切り捨て）(B)  千円（同 上）(C)  千円（同 上）(D)  千円（同 上）金利負担能力  倍（小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入）

〔第4問〕

20点（各5点）

問1  %（小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入）問2  百万円（百万円未満を切り捨て）問3  百万円（同 上）問4  %（小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入）

## 〔第5問〕

## 問1 20点（各2点）

- A 総資本事業利益率 

2	4	3
---	---	---

 % （小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入）
- B 自己資本当期純利益率 

1	6	1
---	---	---

 % （ 同 上 ）
- C 完成工事高キャッシュ・フロー率 

1	2	5
---	---	---

 % （ 同 上 ）
- D 立替工事高比率 

2	2	8	1
---	---	---	---

 % （ 同 上 ）
- E 必要運転資金月商倍率 

1	3	9
---	---	---

 月 （ 同 上 ）
- F 借入金依存度 

1	5	2	0
---	---	---	---

 % （ 同 上 ）
- G 有利子負債月商倍率 

1	4	5
---	---	---

 月 （ 同 上 ）
- H 経営資本回転率 

1	4	1
---	---	---

 回 （ 同 上 ）
- I 労働生産性 

2	3
---	---

 百万円 （百万円未満を切り捨て）
- J 設備投資効率 

2	0	1	6	1
---	---	---	---	---

 % （小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入）

今回は、第23回（平成16年3月14日実施）のように、付記事項で「営業活動に直接関係していない資産」に繰延税金資産を含める指示はないことから、KKSでは繰延税金資産を経営資本から控除せず計算したものを解答例とする。

## 問2 10点（各1点）

記号（ア～モ）

	1	2	3	4	5	6
(1)	エ	ア	キ	サ	へ	ホ

	7	8	9	10
(2)	セ	ネ	シ	チ